

| 基本方策            | 政策目標             | 想定される項目   |
|-----------------|------------------|---|
| 1 子どものスポーツ機会の充実 | 子供の運動習慣の確立と体力の向上 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・未就学児が家族とともに運動遊びを楽しむ機会をつくり、心身の健やかな成長と運動の習慣化を図る</li> <li>・「山梨県新体力テスト・健康実態調査」により、子供の体力や生活習慣の実態を把握する</li> <li>・各学校の体力の課題に応じた「健康・体力づくり一校一実践運動」等の取組を通じて、子供が日常的に運動を楽しむことにより、体力の向上を図る</li> <li>・新しい教育課程の趣旨を踏まえ、豊かなスポーツライフの実現につながる適切な指導のための教員研修の充実を図る</li> </ul> |
|                 | 持続可能な運動部活動環境の構築  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・やまなし運動部活動ガイドラインを踏まえ、目標とする大会や試合などを設定し、適切な休養日や活動時間を踏まえた部活動を推進する</li> <li>・先進的な部活動の実践事例を収集し、県HPや研修会等で紹介することにより、科学的トレーニングを取り入れた合理的でかつ効率的・効果的な活動を推進する</li> </ul>   |

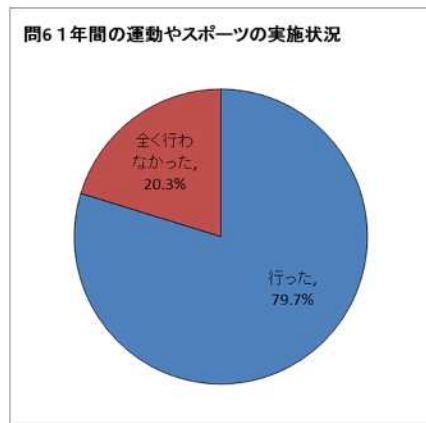
| 基本方策      | 政策目標              |   |
|-----------|-------------------|---|
| 2 健康教育の充実 | 学校保健、学校給食及び食育等の推進 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・肥満・痩身、アレルギー疾患の増加など、現代的健康課題を抱える児童生徒に対応するため、校内体制、地域及び専門機関との連携を目的とした研修会等を開催し、養護教諭等の資質の向上を図る</li> <li>・関連教科等で児童生徒が習得した知識・技能を、より実生活に活かすことができるよう、授業における指導の充実を目的とした研修会等を開催し、養護教諭等の資質の向上を図る</li> <li>・山梨県新体力テスト・健康実態調査等から得られた結果から、各校の実情に応じた「食育推進一校一実践」等の充実が図られるよう、養護教諭等の研修会において先進的な取り組み事例を広く周知する</li> <li>・児童生徒の規則正しい生活習慣や朝食摂取等の確立が図られるよう、授業参観・PTA活動・たより等とおして、家庭における具体的取組を周知する</li> </ul> |
|           | 学校安全の推進           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ医・科学を活用し、学校体育活動中の事故やスポーツ傷害の防止、早期発見に関する知識を学校体育・学校保健関係者に普及啓発する</li> <li>・学校施設や運動器具等、運動環境の安全性の向上や事故防止などに向けた学校体育に関わる研修会の充実を図る</li> </ul>  |

| 基本方策                             | 政策目標                   |   |
|----------------------------------|------------------------|---|
| 3 若年期から高齢期までライフステージに応じたスポーツ活動の推進 | スポーツに対する意識の啓発          | ・生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営むため、運動やスポーツに対する意識の啓発を図る  |
|                                  | 日常的にスポーツ活動に参画するための取り組み | ・健康寿命日本一を維持していくため、関係機関と連携・協働により、県民誰もが各人の自発性のもと、それぞれの興味や関心、適性などに応じて日常的にスポーツ活動に参画できるよう取り組む<br>・自らがスポーツをするだけでなく、スポーツを見る機会を充実させることでスポーツに親しむ   |
|                                  | 総合型地域スポーツクラブの充実        | ・県民が自発的・自主的に参画する地域スポーツの環境を充実するため、総合型地域スポーツクラブの質的充実を図る   |
|                                  | 指導者の育成、施設や情報の充実        | ・地域住民のスポーツコーディネーターの役割を担うスポーツ推進委員などの人材の資質向上と有効活用を図る<br>・各市町村、体育協会とスポーツ推進委員協議会どうしの連携・協働を推進し、スポーツに関する取組の充実や活性化を図る<br>・スポーツに係るイベント、スポーツ施設、指導者などに関する情報提供の充実を図り、広く県民に周知できる体制を整備する<br>・2巡目国体の開催などに向け、県有スポーツ施設整備の基本方針に従って、適切なスポーツ施設の整備を推進する |
|                                  | スポーツに対する機運の醸成          | ・東京オリンピック・パラリンピックやラグビーワールドカップなどの開催に向けて、県民のスポーツに対する機運の醸成を図る  |
|                                  | 国際交流の促進                | ・スポーツを通じた次世代を担う青少年の国際交流を促進する  |

| 基本方策                         | 政策目標          |  |
|------------------------------|---------------|--|
| 4 次世代アスリートを発掘・育成する戦略的な体制等の構築 | 優秀選手の発掘・育成    | ・2巡目国体を目指して競技団体などと連携しながら、有望選手の発掘・育成・強化を支援するとともに、ジュニア育成からトップに至る一貫した指導体制の強化を図る<br>・競技人口の減少や指導者不足に対応するため、新たな人材発掘・育成や、指導者資格の取得支援を行っていく<br>・優秀な選手の育成を行うことで競技スポーツの推進を図り、選手の活躍を通じて県民に夢や希望を与える<br>・本県のスポーツ振興に顕著な貢献のあった選手・指導者を表彰してモチベーションアップに繋げ、県民のスポーツへの関心も高める |
|                              | スポーツ医・科学の活用   | ・科学的・合理的に競技力向上を推進するため、各競技団体に対して戦略強化に向けた情報分析や医・科学的な助言を行う<br>・スポーツドクター等の専門家と連携して、スポーツ事故の防止やスポーツ傷害の予防などに取り組む<br>・アンチドーピングの意識を啓発するため、講習会等を開催して情報提供と周知を図る   |
|                              | 一貫指導体制の推進     | ・学校、大学、県体協、競技団体、民間企業などが連携を強化して、一貫指導体制を構築していく<br>・若い世代の指導者を育成するため、指導者の資格取得支援を推進していく   |
|                              | 障害者のスポーツ活動の推進 | ・障害者スポーツ指導員を育成することや、各種スポーツ大会への参加促進、全国的な規模の大会へ選手を派遣する<br>・今後、新たなパラアスリートを育成していくための方法を検討していく。   |
|                              |               |  |

| 基本方策                | 政策目標                |  |
|---------------------|---------------------|--|
| 5 スポーツに係る好循環の仕組みの創出 | オリンピック・パラリンピック教育の推進 | ・東京オリンピック・パラリンピック開催を契機に、オリンピック・パラリンピックアスリートとのスポーツを通じた交流の促進を図る  |
|                     | トップスポーツと地域との連携      | ・地域のスポーツとトップアスリートとの連携を図る<br>・トップアスリートの経験があるスポーツ指導者を地域でのスポーツ活動に活用していく   |
|                     | スポーツによる地域振興         | ・東京オリンピック・パラリンピック、ラグビーワールドカップなどの事前合宿の誘致を通じて、競技力の向上やスポーツによる地域振興を図る<br>・スポーツを通じた地域の観光振興を図るためスポーツツーリズムを推進し、地域のスポーツに関する情報発信を推進する |
|                     | スポーツボランティアの育成と活用    | ・県民が地域との連携を図るため、ささえるスポーツとしてスポーツボランティアの育成を図る<br>・大学生などのスポーツボランティアを活用して、地域スポーツとの連携を推進する  |
|                     |                     |  |

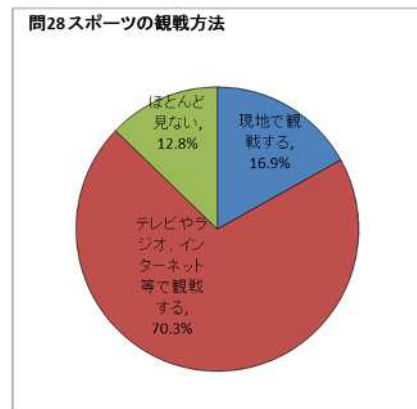
アンケート結果を踏まえた計画への反映



アンケート結果から、県民のスポーツの未実施率が20.3%となっているが、今後も、このスポーツ未実施率を引き下げていく必要がある

↓

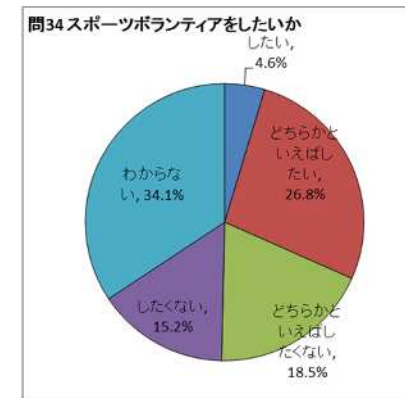
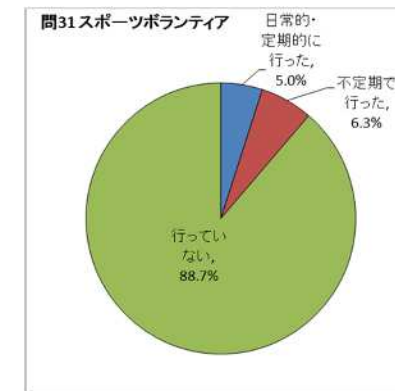
「関係機関と連携・協働により、県民誰もが各人の自発性のもと、それぞれの興味や関心、適性などに応じて日常的にスポーツ活動に参加



スポーツをすることだけでなく、「みる」スポーツを県民に広めていくことが、今後は必要である。

↓

「自らがスポーツをするだけでなく、スポーツを見る機会を充実させることでスポーツに親しむ。」



スポーツボランティアを行っている県民は少ないが、スポーツボランティアをやりたい人々が31.4%存在することから、今後は、「ささえる」スポーツとしてのスポーツボランティアを拡大していく必要がある。

↓

「スポーツを支えることで県民が地域との連携を図るため、スポーツボランティアの育成を図る。」